

祝 志佐小ミニバス全国へ!



2012年度の主な大会成績

- 第26回KTN杯争奪長崎ミニバスケットボール選手権大会兼第33回全九州ミニバスケットボール選手権大会長崎予選 **優勝**
- 第37回長崎県ミニバスケットボール選手権兼第44回全国ミニバスケットボール大会長崎県予選 **優勝**
- 第23回さざんか杯ミニバスケットボール大会 **準優勝**
- 全九州ミニバスケットボール大会 **準優勝**
- NBC杯ミニバスケットボール大会 **準優勝**



代々木の大会で大舞台で実力を発揮

第44回全国ミニバスケットボール大会が3月28日から30日にかけて東京代々木体育館で開催され、長崎県代表として松浦市立志佐小学校ミニバスケットボールクラブが出場し、各都道府県の代表チームと熱戦を繰り広げました。

志佐小は、ここ数年県内屈指の強豪チームとして活躍しており、特に昨年度は夏と秋の2つの県大会を制し、全国大会と九州大会の出場を決めました。先に佐賀県で行われた九州大会では、強豪チームがひしめく中、準優勝の成績を収めています。

全国大会は各都道府県から48チームが出場し、3チームによる予選リーグを1位通過した16チームが4

ブロックに分かれ、トーナメントで各ブロックでの順位を競いました。

志佐小の予選リーグ初戦の相手は新堀ミニバスケットボールスポーツ少年団（山形県）。堂々とした試合運びで33対20で勝利を収めました。

次の長浜北スポ少ミニバス男子（滋賀県）との試合では、第2クォーターまでに16点差をつけられる苦しい展開から第3・4クォーターで同点に追いつくという白熱した試合となりましたが、延長戦の末惜しくも42対45で敗れました。

最終結果は1勝1敗で予選リーグ敗退となりましたが、選手たちは、全国レベルで互角に戦える自信を手に入れた、また次に向けての手応えをつかみました。



祝 志佐小ミニバス全国へ!



黒川徳一郎 監督

Q 全国大会の感想を聞かせてください。

A 全国大会は良い経験となりました。子どもたちは練習の成果を出してくれました。やることはやれたし、全力を出せたと思っ
ています。ただ滋賀戦はうまく流れをつかめず残念でした。

Q 全国とのレベルの差は感じましたか?

A 大きく感じませんでした。九州にも強豪はたくさんいますし、九州大会で戦った自信もあります。ただ、何かが少し足りなかった。今後は個人の技術力はもちろんですがチーム力を鍛えなければいけないと思っています。

Q 応援してくれた皆さんに一言お願いします。

A 皆さんのご支援とご協力のおかげで、志佐小らしく戦うことができました。心から、感謝しています。ありがとうございます。

【記載内容】①氏名・大会時の学年 ②ポジション ③大会の感想



①松本匠巳 (6年) キャプテン
②ガード
③とても良い経験になった。今後はもっと自分たちでもゲームプランを作れるようになりたい。



①牟田竜太郎 (6年) 副キャプテン
②センター
③全国は長崎県内とはまた違う強いチームばかりだった。初戦での勝利はとても自信になった。



①黒川虎徹 (5年)
②ガード
③最後は自分たちの流れにできたので良かった。



①松永陸 (5年)
②フォワード
③シュート1本1本の大切さを知った。



①山本一輝 (5年)
②ガード
③大きなディフェンスとの対決など自信になった。



①山口龍一 (5年)
②ガード
③悔しかったけど、みんなで出場できて良かった。



①大塚聖斗 (5年)
②フォワード
③来年はリベンジして全国で優勝したい。



①小賦光流 (5年)
②ガード
③志佐小もなかなか強いチームだと思った。



①米須玲音 (4年)
②ガード
③「流れてジャンプ→シュート」をもっと磨く。



①山口雅人 (4年)
②ガード
③負けたけど、全国大会に出場できて良かった。



①百武歩 (4年)
②フォワード
③みんな動きが良かった。自分もまねしたい。



①黒川才徳 (3年)
②ガード
③16点差を追いつけたことがうれしかった。



①大塚翔生 (3年)
②ガード
③もっともっと自分の良いプレーを出したい。



①大浦翔太 (3年)
②ガード
③全国は強かった。また次も全国に行きたい。



①松永陽大 (3年)
②フォワード
③1勝してうれしいけど、滋賀戦は悔しかった。